広報 にのみや

第177号　発行日 9月10日　編集 二宮町広報編集委員会　発行 二宮町企画課　二宮919番地　電話72—1811

	8月1日現在	前月との比較
人口総数	25,345人	＋63人
男	12,561人	＋43人
女	12,784人	＋20人
世帯数	6,882世帯	＋9世帯

（人口統計より）

役場

新庁舎の建設に着手

来年夏完成をめざして

八月二十五日、社会福祉センター下の役場新庁舎敷地で、庁舎建設の起工式が行われました。

式場には庁舎建設委員や元の地主さん、町議会議員、設計を担当した相互設計事務所、工事を請負う大成建設株式会社の役職員、町側から柳川町長らが出席し、およそ七十人の人びとが、無事に新庁舎が完成するよう祈念しました。

そして、式場では「近代的な庁舎ができることは喜ばしいが、五十年の歴史をもつ現庁舎になつかしさと親しみを感じている」（村山正雄庁舎建設委員会長）、「衛生センターや小学校を建設し、庁舎を後まわしにした町の政策には一町民として敬服している」（尾上保太郎大成建設常務取締役）などという声がありました。

昭和二年に建築した二宮町役場の本庁舎は敷地六〇八平方㍍、床面積四〇二平方㍍でした。その後町の仕事と職員の増加にともない増築を重ね、現庁舎は五八〇平方㍍になっていますが、老朽化しているうえに狭く、昭和三十三年五月に教育委員会が公民館へ、昭和四十六年六月には経済課と企画課が共同作業用部の分室へ（昭和五十年四月から現在まで公民館）と移動し、さらに昭和四十八年一月に福祉課と教育委員会が社会福祉センターへ分散しています。

このため、町民の利便はもとより事務能率や会議室の確保に支障をきたしています。

昭和四十七年七月、二宮町土地開発公社（鈴田平三理事長）は吾妻山東側斜面約一万七千平方㍍の公共用地開発に着手しました。

これは、庁舎、社会福祉センター、図書館などの公共施設を一か所に集めて建設し、既存の公民館にあわせて機能的な施設利用をはかるためのものでした。

翌四十八年十月同地に社会福祉センターが、昭和五十年三月には図書館が竣工しています。

それより先昭和四十七年二月、庁舎建設委員会が発足しました。

この委員会は町議会、教育委員会、農業委員会、開発公社、都市計画審議会、区長会、商工会、婦人会、勤労青会などの機関、団体の代表者や知識経験者の二十四名による諮問機関で、以来四年半の歳月をかけて審議、検討をしています。

さて、昭和四十八年秋、社会福祉センターの竣工に引き続いて役場新庁舎の建設に着手する予定でしたが、いわゆる石油ショックに始まる経済変動の嵐にきまこまれ国の総需要抑制政策により建設延期のやむなきにいたりました。

昭和五十二年一月、二宮町庁舎建設委員会（村山正雄会長）は新庁舎の建設について、風致や北側民家の日照などの関係から昭和四十八年度に決定した計画の外観、構造は変更することなく、町民の利便、事務能率の向上ならびに各階の有効利用をはかれ、という答申を行いました。

二宮町役場新庁舎の完成予想図

心の通うサービス

事務の能率化を目標に

新庁舎は敷地四、九九六平方㍍、建築面積一、〇七四平方㍍、床面積二、九四〇平方㍍で、地下一階地上三階の建物です。

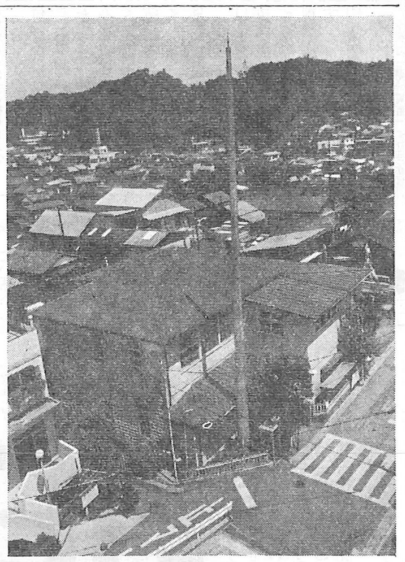
地下は団欒室、倉庫、食堂など、一階は町民ホール、出納室、事務室など、二階は町長室、事務室、会議室など、三階は議会議場、正副議長室、事務局などに充てる計画です。

建設費は、二か年の継続事業で直接、間接経費とも約四億九千万円を見込んでいます。

このうち本年度分は約二億二千五百万円を支出する予定です。その財源は県支出金が二千九百万円、庁舎建設基金（積立て）より一億三千五百万円、地方債（借入れ）二千五百万円、そして一般財源より五千六百万円です。

なお、八月十八日に開催された町議会臨時会で大成建設株式会社と町との庁舎新築工事請負契約が承認されました。

一宮町役場の新庁舎建設事業は町総合計画の中核をなすものであり、将来ますます多様化、高度化してくる行政需要に対し、住民サービスの向上、執務環境の改善、事務合理化、能率化をはかり、行政効果を最大限に挙げようとするもので、来年夏に完成の予定です。


老朽化した現庁舎＝半世紀の役目が終ろうとしている

工事の開始にあたって

役場新庁舎の建築工事により、工事期間中（今月から来年七月まで）は近所にお住いのみなさんはもとより、役場、社会福祉センター、図書館などを利用になる方がたにはいろいろと迷惑をおかけすることになろうかと思いますが、町も工事関係者も、交通安全環境保全などに万全の対策をもってのぞみますので、しばらくの間格別のご協力をお願いいたします

お願い

○ 社会福祉センター前の駐車場は一部が新庁舎の敷地となるほか工事事務所や建築資材置場設置のためにせまくなります。

また、工事用資材運搬用車両の往来のため、役場、社会福祉センター、図書館付近の交通量が増加しますので、この付近の通行には特にご注意ください。

○ 建築資材等運搬用の車両の運行や、工事現場の騒音には充分注意してゆきます。

児童の登校時には安全確保のため、登校時間帯の車両の運行はさけることと、小学生や幼保育園児をはじめ一般歩行者のため交通安全施設を設置するなど安全対策につとめます。

こんにちは ダイヤモンド金剛石婚夫妻です

脇　直一さん（86歳）　里　セキさん（80歳）

結婚式を大正六年四月二十八日にセキさんの実家（旧金目村）で挙げ、馬車鉄道にゆられて平塚駅へ、二宮までは汽車、そして家まで歩く。家に着けば再び結婚式、それから親せき、縁者にひろうするといって、今思えば大変いそがしい一日でした。

それから六十年。大正十年にヒョウ害、同十二年は関東大震災、翌年に火災などの大きな災害や、昭和十六年からの戦争を乗り越えながら六人の子どもを育て、今では十人の孫、二人のひこがあります。

私達の楽しみは二人で年一回出かける旅行。最近は手近な温泉ですが、すでに全国はとんと歩きました。（談）

諸星栄一さん（83歳）　田　かまさん（84歳）　原

大正五年三月十七日に結婚してから六十年の歳月が矢のように過ぎ、三人の子ども、九人の孫に恵まれ、ひとも六足腰を伸ばしています。（談）

人になりました。

結婚後、農機具の行商をして北海道から台湾まで歩きましたが、その間、家内が家を守っていました。その後、昭和十年に埼玉県から二宮に引っ越し、染織工をして生計を立てました。

私達がこのように病気ひとつせずに長生きし、今でも七十歳前後に見てもらえるのは二人とも食べ物に好き嫌いがなく、若い頃から体を使って働いてきたためと思います。

今の楽しみはなによりも毎晩一合の晩酌です。（談）

鈴木浄海さん（83歳）　色　志ツさん（78歳）　一

家の都合により大正五年五月に仮祝言をあげ、同年十一月に正式に結婚しました。

当時、東京の少年審判所で保護司として奉職する一方、専心寺（東京都港区）の住職として約二十年、以後西林寺に移りましたが空襲で焼失、壇家がない寺の再建は大変なもので、土地を売るしかありませんでした。そして昭和三十七年六月に浄源寺の裏に寺と引っ越しました。

今では孫やひこの成長と、月一回兄弟が夫婦そろって近くに旅行するのが楽しみです。

長生きの秘訣は、なんでも良く食べ、適度に運動することで、お墓の掃除をしながら、九十歳を過ぎても足腰を伸ばしています。（談）

みんなで考えよう！

老人の健康と生活の安定

核家族化の進行、住宅難、物価の上昇など、近年、お年寄りを取り巻く社会情勢はきびしく、暮らしにくくしています。

このようなときにこそ「老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として敬愛され、かつ、健全で安らかな生活を保障されるものとする」（老人福祉法）という老人福祉の基本的理念を心両面において具体化し、国や県、町だけでなく、わたくし達一人ひとりの問題として、真剣に、老人福祉対策に取組まねばなりません。

老人福祉週間

九月十五日の「敬老の日」から二十一日までの一週間を「老人福祉週間」と定め、総理府、厚生省、全国社会福祉協議会、全国老人クラブ連合会などが「老後に生きる よろこびを」をスローガンに掲げつぎの三点に重点を置き、運動を推進します。

(1) 老後のためすべての人が話し合いをする。

(2) 老人福祉向上のため、地域に、国、その他の団体で行ってるものには、各種年金の支給や医療費の補助、ベッドや浴槽の貸出し、老人いこいの家や社会福祉センターなどの施設を開放、各種行事の開催、食事や洗濯など身の回りのことについての奉仕活動などがあります。（下欄参照）

もちろん、これだけで充分とはいえませんが、お年寄りのみなさんに心身ともに健康な老後を送っていただけるよう、町も事業の推進に努力しています。

(3) 老後のくらしの安定・健康の保持・増進運動をすすめる。

特に、お年寄りを取りまく家族や隣り近所の方が密接な連携をとり、心身ともに健康であるよう注意するとともに、一人ひとりが老人福祉を自分の問題として話し合い、考えてゆくことが必要です。

老人福祉対策事業

現在、老人対策として町や県、国、その他の団体で行ってるものおける共同活動を進める。

小沢新治さんが老人慰問の寄付

山四五七番地の小沢新治さんから、今年お老人福祉に二〇万円の指定寄付をいただきました。

二宮町社会福祉協議会では、昨年夏から小沢さんのご厚意を「小沢氏老人慰問事業」としていますが、今年は町内のねたきり老人とひとりぐらし老人それぞれ十名の方がたへガーゼねまきタオルセットにして贈りました。

各種の老人福祉対策事業

敬老年金　町内に１カ月以上居住の70歳以上の方に年額12,000円を支給。（町）

国民年金　明治44年４月１日以前に生まれた方が70歳になったとき、または年金保険料を25年以上納めた方が65歳になった時から支給。（町、県、国）

老人医療費補助　町内居住の70歳以上の方に健康保健医療費の自己負担分を補助する。（町、県、国）

老人性白内障手術費補助　65歳以上70歳未満の方に手術費の健康保健医療費の自己負担分を補助する。（町、県）

老人健康診査　65歳以上の方に個人通知を発送。（町、県、国）

保健婦による健康訪問指導　ねたきり、一人暮し等の老人を巡回指導する。（町）

老人家庭奉仕員　老人の身の回りの世話や話し相手となる。（社会福祉協議会）

ねたきり老人対策　入浴、浴槽・ベッドの貸出し、布団乾燥（一人暮しのねたきり老人）、慰問など。（社会福祉協議会）

一人暮し老人給食サービス　10月より月１回昼食を届ける。（町）

老人いこいの家　町内４カ所の施設を教養娯楽の場に開放。区長に申込む。（町）

社会福祉センター　老人クラブ室、浴室を開放。福祉課に申込む。（町）

老人就労事業　60歳以上の健康な方で意欲のある方に働いていただく。（町）

老人参加行事　敬老会、老人青少年囲碁将棋大会、老人教養娯楽講座、老人大学講座、自慢展など。（町、各種団体）

敬老思想普及　敬老作文の募集など。（社会福祉協議会）

老人クラブ　地区ごとに活動。（町、老人クラブ）

（　）内は実施主体。問合せは福祉課（電話73―0294）へ。ただし国民年金、老人医療費補助は住民課（電話71―0767）へ。

あたたかいご協力を

同募金と年末たすけあい

赤い羽根の共同募金は、民間の社会福祉事業に必要な資金を募金する国民のたすけあい運動で、地域住民一人ひとりの善意により支えられ、発展してきたものです。

最近の世相は老人、心身障害者、母子世帯など社会的にハンディを負ったひとにとってだんだんに厳しい様相をみせています。

このようなときにこそ明るく住みよい社会をつくるため国民一人ひとりが運動の輪を広げるこの運動の趣旨を充分にご理解いただきたいと思います。

なお、赤い羽根の共同募金と年末たすけあい運動は二宮町共同募金会で行います。

お問い合せは福祉課へ（社会センター内　電話73―0294）

現在、措置児として保育所に入所している幼児の措置期間が九月三十日で終ります。

十月一日より来年三月三十一日まで継続して措置（入所）を希望の方は、保育所への保育を必要とする理由を証明できる書類（例えば在職証明書、就労証明書等）をご提出ください。

提出期限　九月三十日（金）

提出先　福祉課（社会福祉センター内電話73―0294）

出張受付　9月26日（月）二宮保育園

保育継続の手続き

26日から出張受付け

なお、期限までに書類のご提出のない場合や保育を必要とする理由が不明確な場合は、措置児として取扱いができないこともありますのでご注意ください。

納涼花火大会に一万五千人

夏の夜の風物、二宮町観光協会主催の納涼花火大会が八月六日、一万五千人（大磯警察署調べ）の見物客でにぎわう袖が浦海岸で開催されました。

これに要した費用は約百五万円このうち、八割以上は町内の事業所や商店からの寄付でした。

ごあいさつ

第五回二宮納涼花火大会
実行委員長　鈴木平八郎

過ごしにくい夏の夜、きびしい経済環境のなかで何かと多忙な日を送されておられる時、夏の夜空に、時には大きく、時には小さく花模様を描きながらパーっと咲き、パァー・っと散る日本古来の美「花火」、今日相模湾岸でも有名になってまいりました二宮納涼花火大会はいかがでしたでしょうか。

興行するに当り、他の地区とは違う二宮の場合、天候は勿論のこと海上気象に左右され、ただただ私共は神に手を合せ、施行できることを願うばかりでした。幸に本年も打上花火を各区に時には形花火、海辺でなくては見られない水中投込み花火、華麗なスターマイン等と約一時間三千分の間観覧者の皆様のご協力のもとに無事大会が終りましたことを感謝申し上げます。

最後にこの大会開催に当り、漁業協同組合、二宮観光協会、二宮商工会、二宮町観光協会、二宮町青年団、二宮町婦人会、二宮町社会福祉協議会、二宮町民生児童委員協議会、二宮町婦人会、二宮町社会福祉協議会、二宮町民生児童委員協議会、二宮町婦人会、二宮町社会福祉協議会、二宮町民生児童委員協議会、二宮町婦人会、二宮町社会福祉協議会

目標額……七〇万円
配分先：生活困窮世帯、ねたきり老人、各施設入所者、福祉施設

声でわいていました。

なおほか、町内の保育園や福祉施設に配分します。

協力団体：二宮町区長会、二宮町民生児童委員協議会、二宮町婦人会、二宮町社会福祉協議会

年末たすけあい

共同募金と合せて行います。

よろしくご協力ください。

目標額……七〇万円
配分先：生活困窮世帯、ねたきり老人、各施設入所者、福祉施設

老人を火災から守ろう

お年寄りの万一の場合を考慮して、日ごろからあたたかい手をさしのべることが大切です。

①避難しやすい所に寝かせる
老人は自力で行動できても、家族の手助けを必要としてもやはり避難しやすい場所に寝かせることが先決です。

②喫煙など火の取扱いに注意
たばこの火が布団に落ちても気付かなかったり、気付いても消すことができないで火災になった例もあります。特に体の不自由な老人の場合は大きな灰皿を備えておくなど、喫煙管理のくふうをし、防火に対する家族の配慮が必要です。

③整理・整とんをする
台所のこんろの上にふきんがかけてあったり、暖房器具の近くに可燃物が放置してあったりすることのないようふだんから室内の整理整とんをしておくことが大切です。

④非常時の連絡方法を考えておく
老人の家と老人電話センターを結ぶ「老人電話」や近所の家との連絡に使う「ベル」や「インターホン」などの設置が急速に進んでいます。

ぐるーぷ・さーくる

白百合グループ

昭和四十六年、一色小学校の校長先生から、PTA会員の中から、油絵を好む方を集め、同好会を作ってみないかとの誘いで十五人が集まりました。これが二年後、白百合グループとして独立し、現在は十人で構成しています。

メンバーはほとんど三十～四十歳代の主婦で、家事や育児の合間をぬって制作に精を出しています。しかし、一枚仕上げるのに平均半月から一カ月くらいかかり、でき上った作品は月一回、社会福祉センターで開く例会に持ち寄り、先生の批評や指導を受けています。

作品は風景や静物などが多く今年も町文化祭、平塚の画廊で開かれる展示会に出品し、将来は神奈川県展出品を目標としています。

真墨会

毎年十四万人余が参加し、高野山で開かれる金剛峯寺主催の全国書道展に会員が出展、特別賞（南山賞）に中学生、同（協会賞）に小学五年生が入選した他、各賞に多数の入選者を出し入会ご希望の方は清野シマさん（電話71―九二三五）へ

毎月一回、代表の田津原さん宅で行い、今日より明日、明日より明後日と「一日目前進」が会員の目標です。

今後はおとなの会員を増やし会を充実させ、よりよいグループとしてゆくことを目差しています。

入会ご希望の方は田津原京子さん（電話71―一五五一）へ

その他の大会でも多くの功績を残している会員五十名（大半が小学生）のグループです。

練習は週一回、代表の田津原さん宅で行い、今日より明日、明日より明後日と「一日目前進」が会員の目標です。

今後はおとなの会員を増やし会を充実させ、よりよいグループとしてゆくことを目差しています。

入会ご希望の方は田津原京子さん（電話71―一五五一）へ

ひとこと

体がひまになってくると、なにか趣味がほしくなる。私だけではなく、だれもがそうだと思います。

主人を終戦の年になくし、子ども六人をかかえての生活は大変なものでした。生まれて初めて跳躍し、会社内の電話交換手として定年まで勤めましたが、この間は趣味どころではありませんでした。

しかし、定年以後は時間に余裕ができ、子ども達もみな独立したので、若い頃から思い続けていた書道に身を入れようと考えていた矢先に、長男がこの百合が丘に家を建てたので同居するための引越しでまた延び、やっと昨年、福祉センターで開かれているおとしよりの趣味の会の習字に参加ができ、長年の念願を果しました。

この頃りはお年寄りばかりなので、月一回ですから無理なく出席でき、喜んでいます。また、今年になってから詩も始めました。これは声を腹から出すので非常に健康上良いというので友人が勧めてくれたものです。詩吟を始めてからは、家族の留守の時は大きな声を出して練習しています。これによって、一人でいることのさびしさはまぎれ、逆に留守になるのを待っているようなこともあり、毎日がいそがしくさせられました。

今では、じょうず、へたは別として二つの趣味を持ち、老人クラブにも参加していますので、大変楽しい、充実した毎日を送っています。

私達老人は、なにか趣味を持つことによって、一人で孤独な時間を慰し、多くの友達と楽しく有意義に過ごすことができるのではないでしょうか。

百合が丘一―一三　小谷はるゑ（明治40年生）（談）

私の思うまま

けや

三年　初　金井由美

会員金井由美さん（二宮小3年）の作品

季節の中でいつが一番好きかと聞かれれば、暑もなく寒もなく、夏でもなく秋でも冬でもない。季節の移り目長雨の雲間には、さわやかな秋空がかいま見えます。それは、九月の山そのものです。仕事の後の、暫くの充足感の様なものがあります。

私が商売の道に入って、五年目になりました。二宮の商人の多くは、今二代目が後を継ぎ、新しい商売に、完全な包含関係にはない、私ども、二宮に商いする者は、その"ない"という事が確かな以上、いたずらに不安がることはないと思います。

パーの進出は時間の問題でかなり深刻なものがあります。しかしながら、個人商店の販売活動と、大手スーパーのそれとは、完全な包含関係にはない、私ども、二宮に商いする者は、その"ない"という事が確かな以上、いたずらに不安がることはないと思います。

町の動き

8月1日～8月31日

防止委員会

間）
等連絡会

18日　昭和52年第１回二宮町議会臨時会
町議会全員協議会
20日　地区対抗少年野球大会（～21日）
21日　町民水泳大会および子ども金水泳大会
24日　仮称町立第二中学校建設促進実員会議
25日　庁舎起工式
26日　農業委員会総会
27日　二宮町敬老会運営委員会

9月1日～30日

みんなで定期検診を

ガン征圧月間

9月21日～27日

私たちの生活環境をきれいにしよう

環境衛生月間

街かどのアドバイス

交通安全の一声運動

十月一日、全国いっせいに共同募金運動が始まります。

毎年、暖いご理解とご協力をいただいている方々に、二宮町ボランティアの会による募金箱の設置、二宮駅前での募金運動、二宮小学校、二宮中学校、二宮高校の生徒による募金運動、29日（水）みちる愛児園、30日（金）百合が丘保育園の園児による募金運動が行なわれます。

いずれも午後二時より六時まで。

秋の全国交通安全運動を契機に、主婦を中心にまず家庭から交通事故を絶対に起さない運動を盛りあげ、これを地域職域に波及させ、人びとの心のふれあいにより、相互に交通安全意識を高めるための運動を展開してゆくとしています。

二宮町交通安全対策協議会でも婦人を中心とした交通安全運動として婦人会、PTA等の団体におよそ次のように呼びかけます。

① 夕食や家族団らんのひとき等に交通安全や交通事故を防止する方法について話し合いをするとともに家族が外出するときや車を運転するときなど日常生活の中で子どもや夫、お年寄りに交通安全の一声をかけましょう。

② 買物等の外出時に街頭で子どもやお年寄りの危険な行為を諌めたときは、いつ、どこでも誰にでも笑顔で交通安全の一声をかけましょう。

来客あるいは法事、祝事等で人よせを行ったときは、その帰り路の危険個所に注意するよう一声をかけ合いましょう。

また、これらの会合で酒のもてなしがある場合に、車でできていることがわかった者には絶対にお酒を飲ませないようにするとともに飲酒してしまった者には絶対に車を運転させないよう注意し合いましょう。

ゆっくり走ろう神奈川

9月21—30日

秋の全国交通安全運動

昭和五十二年秋の全国交通安全運動は、九月二十一日より三十日まで、「ゆっくり走ろう神奈川」を合言葉に繰り広げられます。

この運動には町議会をはじめ関係団体が協力して、

一、歩行者、自転車利用者、特に子どもと老人の交通事故防止

二、シートベルト着用の推進

三、夜間における交通事故の防止

を重点目標にかかげ、街頭活動、広報活動を展開しますが、中郡自転車商組合のみなさんによる自転車の街頭無料点検なども特別行事として実施します。

住民の声

望ましい意見を町行政に反映させるため、性、年齢、職業を問わず登場していただいたんの居住地域を順番に替えていきます。

自転車の放置

最近の自転車ブームは相当なもので、どこの市町村でも駅周辺の自転車対策が頭痛の種のようです。また、マスコミも盛んに取り上げています。

二宮駅周辺も例外ではなく、少し前までは通勤や通学の方が止めていた自転車は相当数ありました。それも整然と慎いてあるのではなくありにも乱雑です。そのために、広い道路も狭められ、その上自動車も止めてあります。特に私が感じたのは駅南口で、ひどい時には道路が半分しか使えず、歩行者はもちろん、バスやタクシー、一般車両の通行にも支障を来たしているようです。

しかし、最近になって町、大磯警察署、県土木事務所の連名で立看板をたててくださり、また、夏休みのためかだいぶ減り通行に支障を来たすようなことはなくなりました。

自転車に乗ることは健康の上からも良いので、交通ルールを守り、事故のないよう充分気をつけて乗っていただくとともに他人に迷惑をかける場所には置かぬよう心掛けてください。

山西三二一番地　石川　幸代（56歳）

住居表示

私が二宮に越して以来早くも三年が過ぎましたが、公害もなく、緑の多い居住環境に満足しています。

しかし、以前に住んでいた所は住居表示制度が実施されていたので秋葉台の住所の表示に当初はなじめず最近になってやっと抵抗なく使えるようになりました。地区内に住む私でさえこうなのですから地区外から訪れる人はなおのことです。郵便局員、運送屋、デパートの配送員の方などの来訪者が毎日のように立寄り、家を訪ねてゆきます。

広報にのみやで三、四カ月前に秋葉台、田代、松根の三地区に住居表示が近ぢか実施されるという内容の記事がありました。これにより三地区の住所が明りょうになり、だれにでもわかりやすくなると思います。合わせて秋葉台、田代、松根の三区にそれぞれ住所を表わした掲示板を立て、各戸には住居番号表示板を掲示し、来訪者はこれを見れば一目でわかるようにしていただきたいと思います。

これを機に全町に実施できるよう検討をお願いします。

二宮一、二〇二一六六　佐藤　勝男（43歳）

歩道の整備

私は県道二宮秦野線の沿道に住んでいます。この道路を夜中に猛スピードでとばす大型トラック、乗用車、数台連ねて走るオートバイなどの騒音に悩まされています。また、この道路には、歩道が整備されていない箇所があります。特に交通量が増加している道路のため、歩行者に危険が伴います。町や県当局に歩道の設置を要望します。

現在、この道路に替るべくバイパスの建設が進められていますが、その完成を心待ちにしています。

一色七八一番地　露木　紳司（29歳）

お答え　一色地区内の県道に歩道を整備するためにはいくつかの問題があります。

歩道の幅員は原則として一・五以上必要（既設部分は旧規格の七五センチ）であり、現状の六以上道路を削ることは、バスやその他の車両の通行上不可能です。そのため、私有地の一部を譲渡していただかなければなりません。また、現在新しい道路の建設を進めていますので、完成後は交通量も半減するものと思われます。（神奈川県平塚土木事務所道路補修課）

主婦の健康チェック

県民の健康づくり運動の一環として、主婦の健康生活状態を把握し、必要な指導助言を行い、主婦一人ひとりの健康保持と地域健康水準の向上を目的として実施します。

日　時	9月20日（火）午前9時30分～11時30分 午後1時～3時
会　場	二宮保健ステーション
対　象	町内に在住する婦人（希望者）
内　容	(1)　健康生活調査（日常の健康状態、食事状態等） (2)　ヘルスチェック（身長・体重・血圧・握力測定）
定　員	50名まで　　費　用　無料
その他	くわしくは平塚保健所保健予防課へ （電話　0463—32—0130）

犬も家族の一員

他人に迷惑をかけていませんか

犬を散歩させるときは、くさり等でつないで、連れて歩いてください。その際、必ず小さなシャベルとビニール袋を携帯し、排せつ物を処理し、自宅へ持ち帰って処分してください。

犬を他人の土地や道路など公共の場所、また、近所の家の門やへい等に排せつをしないよう飼育してください。

犬の放し飼いは絶対にやめましょう。

犬による苦情、野犬がいる、このようなときには下記へご連絡ください。

平塚市土屋401番地　神奈川県動物保護センター（旧犬管理センター）電話0463—58—3411

街のできごと

盆踊り大会

八月十八日、二宮小学校校庭で二宮町盆踊り大会が開催され老若男女多数が参加しました。

梅雨を思わせる夏の長雨で、十七日の予定を一日延期し、雨こそ降らなかったが低くたれこめた雨雲、踊らないでいると少し肌寒いくらいの天気でしたが開始の七時を過ぎた頃より人出は増え始め、八時から九時にかけて最高の盛り上がりを見せました。

レクリエーション協会の方がたや親子づれ、小学生、若い女性が、やぐらを中心に二重、三重の輪をつくり、二宮音頭、神奈川おどり、炭坑節など十数曲を楽しく踊っていました。

みごとなバチさばきに踊りも最高潮

駅南口のいけ花

二宮駅南口には、終戦の翌年から三年以上も、乗降客に潤いを与えているいけ花にお気付きの方も多いことでしょう。

このいけ花は、梅沢の千家古流家元、田津原煤陽さんが終戦の混乱で人の心がすさみがちなため、少しでも心安らぐものをと、当時近所に住んでいた会社社長の富田金重さんの援助を得て始めたものです。

始めは町内から何人かの協力者があったのですが、世情が厳しいため一人、二人と辞め、ついに田津原さんひとりになってしまいましたが、始めたからには最後までという信念で続けました。

その後、田津原さんのお弟子さん達で結成している千華会の有志が協力、小田原、二宮、大磯、平塚、茅ケ崎、藤沢などからわざわざいけにきています。また、現在の席も谷戸の内海工務店が寄贈したものです。

なお、田津原さんのいけ花は東海道線や小田急線の各駅にも展示されています。

終戦当時からいけ続ける田津原さん

老人こいの家で町政懇談会を開催

七月二十九日、茶屋老人こいの家で茶屋地区の町政懇談会が開かれました。

この懇談会は、地区住民が自主的に開いたもので、約七十人の住民と、要請により町長、助役町議会議員三名、企画、建設、衛生の各課長や係長、消防署長が出席しました。

内容は、茶屋地区をとりまく諸問題で、そのおもなものは、①中学校建設に関する署名運動とその後の経過について、②川匂隧橋完成後の茶屋地区への影響と対策について、③汲み取り問題について、などでした。

山西小校歌に遠藤さん入選

町立山西小学校校歌の歌詞を本紙六月号で募集したところ、十名の方がたより作品が寄せられ、まことにありがとうございました。

作品は、町長などと町議会、教育委員会、小、中学校の代表による十七名の選考委員によって慎重な審査を行いました。

応募作品には優秀なものが多く審査の結果はつぎのとおりです。

なお、入選作品は山西小校歌発表会でお知らせいたします。

入選　山西六一二一　遠藤たか子

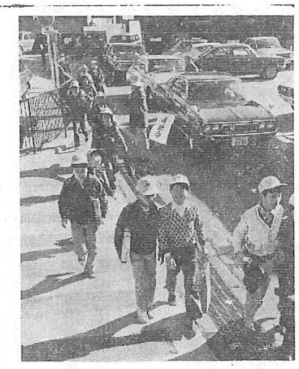
佳作　百合が丘一　原口登志子

〃　山西一三三九　二見　雅治

大磯署員らがかぶと虫募金

「今年の夏、大磯警察署の「かぶと虫募金」は、非番の警察官や地元老人ホームのお年寄り、それに川匂一一番地の山田庄平さんらが採取したかぶと虫で行ったものですが、募金は今までの最高額十一万六千円に達しました。

この募金に大磯署員のカンパを合わせ十四万円とし、また、大磯地区交通安全協会も神奈川フジカラー株式会社から寄せられた、スーパーカーショウの謝礼のうち十万円を先のかぶと虫募金に合わせて二宮大磯町の交通遺児（中学生以下）十世帯十六名に贈りました。



きょうも元気で安全通学

広報にのみや

十月一日、全国いっせいに共同募金運動が始まります。

毎年、暖いご理解とご協力をいただいている方々に、二宮町ボランティアの会による募金箱の設置、二宮駅前での募金運動、二宮小学校、二宮中学校、二宮高校の生徒による募金運動、29日（水）みちる愛児園、30日（金）百合が丘保育園の園児による募金運動が行なわれます。

いずれも午後二時より六時まで。

秋の全国交通安全運動を契機に、主婦を中心にまず家庭から交通事故を絶対に起さない運動を盛りあげ、これを地域職域に波及させ、人びとの心のふれあいにより、相互に交通安全意識を高めるための運動を展開してゆくとしています。

二宮町交通安全対策協議会でも婦人を中心とした交通安全運動として婦人会、PTA等の団体におよそ次のように呼びかけます。

① 夕食や家族団らんのひとき等に交通安全や交通事故を防止する方法について話し合いをするとともに家族が外出するときや車を運転するときなど日常生活の中で子どもや夫、お年寄りに交通安全の一声をかけましょう。

② 買物等の外出時に街頭で子どもやお年寄りの危険な行為を諌めたときは、いつ、どこでも誰にでも笑顔で交通安全の一声をかけましょう。

来客あるいは法事、祝事等で人よせを行ったときは、その帰り路の危険個所に注意するよう一声をかけ合いましょう。

また、これらの会合で酒のもてなしがある場合に、車でできていることがわかった者には絶対にお酒を飲ませないようにするとともに飲酒してしまった者には絶対に車を運転させないよう注意し合いましょう。

ゆっくり走ろう神奈川

9月21—30日

秋の全国交通安全運動

昭和五十二年秋の全国交通安全運動は、九月二十一日より三十日まで、「ゆっくり走ろう神奈川」を合言葉に繰り広げられます。

この運動には町議会をはじめ関係団体が協力して、

一、歩行者、自転車利用者、特に子どもと老人の交通事故防止

二、シートベルト着用の推進

三、夜間における交通事故の防止

を重点目標にかかげ、街頭活動、広報活動を展開しますが、中郡自転車商組合のみなさんによる自転車の街頭無料点検なども特別行事として実施します。

住民の声

望ましい意見を町行政に反映させるため、性、年齢、職業を問わず登場していただいたんの居住地域を順番に替えていきます。

自転車の放置

最近の自転車ブームは相当なもので、どこの市町村でも駅周辺の自転車対策が頭痛の種のようです。また、マスコミも盛んに取り上げています。

二宮駅周辺も例外ではなく、少し前までは通勤や通学の方が止めていた自転車は相当数ありました。それも整然と慎いてあるのではなくありにも乱雑です。そのために、広い道路も狭められ、その上自動車も止めてあります。特に私が感じたのは駅南口で、ひどい時には道路が半分しか使えず、歩行者はもちろん、バスやタクシー、一般車両の通行にも支障を来たしているようです。

しかし、最近になって町、大磯警察署、県土木事務所の連名で立看板をたててくださり、また、夏休みのためかだいぶ減り通行に支障を来たすようなことはなくなりました。

自転車に乗ることは健康の上からも良いので、交通ルールを守り、事故のないよう充分気をつけて乗っていただくとともに他人に迷惑をかける場所には置かぬよう心掛けてください。

山西三二一番地　石川　幸代（56歳）

住居表示

私が二宮に越して以来早くも三年が過ぎましたが、公害もなく、緑の多い居住環境に満足しています。

しかし、以前に住んでいた所は住居表示制度が実施されていたので秋葉台の住所の表示に当初はなじめず最近になってやっと抵抗なく使えるようになりました。地区内に住む私でさえこうなのですから地区外から訪れる人はなおのことです。郵便局員、運送屋、デパートの配送員の方などの来訪者が毎日のように立寄り、家を訪ねてゆきます。

広報にのみやで三、四カ月前に秋葉台、田代、松根の三地区に住居表示が近ぢか実施されるという内容の記事がありました。これにより三地区の住所が明りょうになり、だれにでもわかりやすくなると思います。合わせて秋葉台、田代、松根の三区にそれぞれ住所を表わした掲示板を立て、各戸には住居番号表示板を掲示し、来訪者はこれを見れば一目でわかるようにしていただきたいと思います。

これを機に全町に実施できるよう検討をお願いします。

二宮一、二〇二一六六　佐藤　勝男（43歳）

歩道の整備

私は県道二宮秦野線の沿道に住んでいます。この道路を夜中に猛スピードでとばす大型トラック、乗用車、数台連ねて走るオートバイなどの騒音に悩まされています。また、この道路には、歩道が整備されていない箇所があります。特に交通量が増加している道路のため、歩行者に危険が伴います。町や県当局に歩道の設置を要望します。

現在、この道路に替るべくバイパスの建設が進められていますが、その完成を心待ちにしています。

一色七八一番地　露木　紳司（29歳）

お答え　一色地区内の県道に歩道を整備するためにはいくつかの問題があります。

歩道の幅員は原則として一・五以上必要（既設部分は旧規格の七五センチ）であり、現状の六以上道路を削ることは、バスやその他の車両の通行上不可能です。そのため、私有地の一部を譲渡していただかなければなりません。また、現在新しい道路の建設を進めていますので、完成後は交通量も半減するものと思われます。（神奈川県平塚土木事務所道路補修課）

盆踊り大会

八月十八日、二宮小学校校庭で二宮町盆踊り大会が開催され老若男女多数が参加しました。

梅雨を思わせる夏の長雨で、十七日の予定を一日延期し、雨こそ降らなかったが低くたれこめた雨雲、踊らないでいると少し肌寒いくらいの天気でしたが開始の七時を過ぎた頃より人出は増え始め、八時から九時にかけて最高の盛り上がりを見せました。

レクリエーション協会の方がたや親子づれ、小学生、若い女性が、やぐらを中心に二重、三重の輪をつくり、二宮音頭、神奈川おどり、炭坑節など十数曲を楽しく踊っていました。

みごとなバチさばきに踊りも最高潮

駅南口のいけ花

二宮駅南口には、終戦の翌年から三年以上も、乗降客に潤いを与えているいけ花にお気付きの方も多いことでしょう。

このいけ花は、梅沢の千家古流家元、田津原煤陽さんが終戦の混乱で人の心がすさみがちなため、少しでも心安らぐものをと、当時近所に住んでいた会社社長の富田金重さんの援助を得て始めたものです。

始めは町内から何人かの協力者があったのですが、世情が厳しいため一人、二人と辞め、ついに田津原さんひとりになってしまいましたが、始めたからには最後までという信念で続けました。

その後、田津原さんのお弟子さん達で結成している千華会の有志が協力、小田原、二宮、大磯、平塚、茅ケ崎、藤沢などからわざわざいけにきています。また、現在の席も谷戸の内海工務店が寄贈したものです。

なお、田津原さんのいけ花は東海道線や小田急線の各駅にも展示されています。

終戦当時からいけ続ける田津原さん

継いでやっております。どの職業に恐いにも、言えると思いますが、小売業に携わる私達も、多くの悩みを抱え、何とかしなくてはいけないと、努力している毎日です。中でも、零細小売店と、大手スーパーとの競争は、年々厳しくなるばかりです。

私は、そう思うのです。

九月の山道を登りながら、せて地元小売店の本来の面目を発揮すれば良い。その様に毎日を心がけて努力すれば良い。

二宮一、三〇九番地　西山　克美（昭和21年生）

主婦の健康チェック

県民の健康づくり運動の一環として、主婦の健康生活状態を把握し、必要な指導助言を行い、主婦一人ひとりの健康保持と地域健康水準の向上を目的として実施します。

日　時	9月20日（火）午前9時30分～11時30分 午後1時～3時
会　場	二宮保健ステーション
対　象	町内に在住する婦人（希望者）
内　容	(1)　健康生活調査（日常の健康状態、食事状態等） (2)　ヘルスチェック（身長・体重・血圧・握力測定）
定　員	50名まで　　費　用　無料
その他	くわしくは平塚保健所保健予防課へ （電話　0463—32—0130）

犬も家族の一員

他人に迷惑をかけていませんか

犬を散歩させるときは、くさり等でつないで、連れて歩いてください。その際、必ず小さなシャベルとビニール袋を携帯し、排せつ物を処理し、自宅へ持ち帰って処分してください。

犬を他人の土地や道路など公共の場所、また、近所の家の門やへい等に排せつをしないよう飼育してください。

犬の放し飼いは絶対にやめましょう。

犬による苦情、野犬がいる、このようなときには下記へご連絡ください。

平塚市土屋401番地　神奈川県動物保護センター（旧犬管理センター）電話0463—58—3411

3日	環境衛生センター桜美園公
	子ども映画会（～5日）
6日	二宮町涼花火大会
9日	選挙管理委員会定例会
10日	昭和51年度決算審査（他5
	昭和52年度第1回消費者団
11日	教育委員会議（他1日）
12日	広報編集委員会議

完成は来年一月末
山西小体育館工事始まる

山西小学校の施設を充実化するため、七月初旬から同校の体育館建設工事が始っています。

山西小体育館助面積は八六一平方メートル、工事はおよそ七千七百万円です。

また、釜野トンネルの中島口と釜野口の部分の改良工事と、トンネルから新幹線ガード下までの道路約二百五十メートルの改良工事が行われています。

山西小体育館の工事は一月末までに完成する予定です。

なお、四月に完成した山西小校舎の工事費の一部は郵便局の簡易生命保険の積立金から還元融資を受けて建設したものです。

山西小体育館の骨組工事（8月27日）

第一回水泳大会開催される

八月二十二日、第一回二宮町民水泳大会が町営百合が丘プールで開催されました。

曇りがちの天候でもあり、またはじめてのため参加数は男女合わせて二千人でしたが中学生から五十九歳の男性までの参加があり、各レースとも力づよい泳ぎを見せ、次の方々が第一回水泳大会を飾りました。

中学生（男子50メ）　肝付豆志
〃（女子50メ）　飯田真奈美
二十歳未満（男子50メ）　伊東一己
三十歳代（男子50メ）　高岡　畑
四十歳代（男子25メ）　飯田　彰
五十歳以上（男子25メ）　福原節雄
一般女子（25メ）　山下素子
〃（男子50メ）　国村　武司
〃（女子50メ）　原　景久美
中学生（男子50メ）　桧山、英樹
〃（女子50メ）　山岡美恵子
男子100メリレー　秋葉台チーム
女子100メリレー　中里チーム

予ども会水泳大会で二百人力泳

八月二十二日、恒例の子ども会水泳大会が百合が丘プールで行なわれました。

参加者は男女二百人にものぼり、カッパ達の熱戦が展開されました。

各レースの優勝者はつぎのとおりです。

小学四年（男子25メ）　飯田雅也
〃五年（男子25メ）　秋原かおり
〃〃（女子25メ）　遠藤智大郎
〃〃（女子25メ）　栗山ちえ子
〃六年（男子25メ）　若橋　裕
〃〃（女子25メ）　斉藤由希子

10月2日に第34回町体育祭

今年で三十四回目を迎える二宮町体育祭が十月二日（日）二宮中学校校庭で開催されます。

町体育祭は二宮町体育協会が主管し、町・教育委員会が共催するもので、スポーツ、レクリエーションに町民が親しむとともに、スポーツ精神の高揚と体力づくりを推進しようというものです。

みなさんおそろいでお出かけください。

なお、当日が雨天の場合は九日（日）に延期されます。

また、参加者は二宮町民に限られ（職域別リレーを除く）表彰は地区別リレー（小中学生の部、一般の部）および職域別リレーのみ行ないます。

元町北チームが少年野球大会で優勝

八月二十、二十一日の二日間にわたり第二十六回二宮町少年地区試抗野球大会が開催されました。

試合は参加十三チームによりトーナメント方式で行われ、各試合とも白熱したプレーが見られ、その結果、元町北チームが川匂・押切・茶屋チームを、百合が丘二丁目チームを破り優勝しました。

優勝　元町北チーム
準優勝　下町チーム
三位　元町南チーム
〃　百合が丘二丁目チーム

園芸

キュウリの話

食糧のせるのは、普通には開花してから十～十五日ほどの育ちかりの幼果ですが、開花中のものを「花まる」、五～六センチくらいのものを「もろきゅう」として料理に用います。果実が完成するまでおよそ二週間も達する大果となり、黄変するので「黄瓜」の別名もあります。

キュウリの仲間ではもちろん、野菜のうちでもいちばん周年的な消費があり、人気があるのは、漬物とサラダに両用でき、手軽に調理できるからでしょうか。

施設園芸の発達で、秋～冬一般に豊富に出回っています。

今ごろは夏から続いた福島、岩手ものが終りに近づき、再び近在にも多いハウス抑制ものに切り変るときです。季節感の喪失がはずかしいかぎりですが、ローマでは紀元前一～三世紀にすでに冬の鴨熱利用栽培が始まったといわれ、各国とも早くから不時栽培の歴史がある野菜です。

原産地はヒマラヤ山麓、凱合に冷涼な気候を好み、当地のような普通の平坦地帯の夏では高温すぎ、五～六月ごろが最もよく育つ時期です。

キュウリには果実の形状、色などの異ったたくさんの品種があります。現在多く栽培され、一般に市場に出回っているのは果の長さ二〇～二五センチの温室で、いぼの色が白色の、いわば「白いぼ等キュウリ」ですが、十数年前までは当地方の春キュウリは殆ん半白果で黒いぼの「相模半白」で占められていたのはご承知のとおりです。この品種は昭和四年に園芸試験場で育成発表され、三十年間も主要品種の座を占めていましたが病害に弱くつくりにくいことと、サラダに向かないことが、新しい時代に合わなくなり姿を消したものです。このほかに六〇センチ以上にも達する長果のものや、地這の三浦十日、いわゆる「ドタウリ」（本県三浦の在来品種）のような地方品種が各地に沢山ありますが、同じような理由で多くは姿を消してしまいました。現在の代表品種はこれらの形質の一部をうけついだ、性質を異にする二つの親を交配し、その雑種強勢を利用した一代雑種によっています。したがって、これから種をとると分離していろいろなものがでるわけです。

キュウリの根は酸素不足に弱くて、すぐに老化しやすく、また、肥料を吸いすぎるとすぐに育ちがにがぶります。沢山よい堆肥を施し、肥料を吸いすぎさせないように育てるのが成功のコツです。箱づくりでは腐敗土または良質の堆肥を土と半々ぐらいに混ぜてつくることが大切です。市場では「カッパ」と呼ばれますが、そのぐらい水も好みます。箱づくりでは水かけを怠らないことが肝心です。曲り果でも食べるには支障ありませんが、このような果実がたくさんでるようでは多い収穫は望めません。

（神奈川県園芸試験場）

おしらせ

図書館より

○新着図書

生きるということ　エーリッヒ・フロム
複合汚染その後　有吉佐和子
エーゲ海に捧ぐ　池田満寿夫
僕って何　三田誠広
論語知らずの論語読み　阿川弘之
クォリティライフの発想　渡部昇一
さびしい姫君　北杜夫
数学感覚　渡辺茂
英語の研究と鑑賞　福井久蔵
科学のたのしみシリーズ〇～⑩　ジーン・ヘンディック

○読書会

とき　9月24日（土）午前九時～三〇分～一一時三〇分
ところ　二宮町図書館
テキスト　渡部昇一著「知的生活の方法」（講談社）
参加自由、参加者はテキストを読んできてください

○休館日

最近、休館日に楽隠される方が多く見受けられますのでお知らせいたします。

毎週火曜日と土曜日の午前中

毎月の末日

成人の日、こどもの日、文化の日を除く祝日

年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）

○開館時間

午前八時三〇分より午後五時まで、ただし土曜日は午後一時より五時まで

53年詠進歌募集

昭和五十三年歌会始のお題が決まりました。

つぎの要領でご応募ください

お題　「母」

母（はは）の語意ある他の言葉、たとえば「ならちね」・「めおや」などと用いてもよいが、人間をはじめ生命のある動物の女親を題材として歌に限ります。母国・母校などとして用いないこと。

詠進要領

一、自作の歌で一人一首とし未発表のものに限ります。

二、半紙に毛筆で自書してください。

三、病気または身体障害で自書できない場合は、代筆でもかまいませんが、理由を書いた紙を添えてください

盲人の方は、点字でもかまいません。

四、書式は、半紙右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名、生年月日、職業を書いてください。

詠進期間　九月一日～十月十一日（当日消印有効）

あて先　〒100　東京都千代田区千代田一番一号　宮内庁

その他

○封筒には「詠進歌」と書き添えてください。

○詳細は十月末日までに、宮内庁式部職あてに返信用封筒同封のうえ照会してください

行方不明者を捜す相談所の開設

家出の原因、動機などからどこかで元気でいるのではないかと心配されている家出人や行方不明者の家族、知人などに身元不明の死体票、身元不明者便覧（全国の身元不明者の写真集）などの資料を公開して、一体でも多くの身元を確認するため開設します。

お心あたりの方、お知合いで困っている方がありましたらこの機会におたしかめください。

なお、行方不明者を捜す相談所は昭和三十八年から毎年開設されていますが、これまでに八十六体の身元が判明、確認されています。

場所　横浜市中区山下町五四番地、神奈川県警察本部分庁舎五階の鑑識課

期間　九月一日から三十日まで

暮らしの講座

結婚をひかえた方がたはもとよりニューファミリーのミセスにも受講をおすすめします。

10月　ブライダル土曜講座
1日　漢方薬と健康（女性のための漢方薬）
8日　朝食と健康（全粗で染色のある朝食）
15日　化粧と健康（お化粧と皮ふの生理を考える）
22日　美容食と健康（食事と栄養のバランス）

いずれも、土曜日午後一時三〇分より三時三〇分まで、神奈川県平塚清掃生活センター講堂で開きます。

講師は県薬剤師協会理事岡本光博氏ほか。

お申込みは電話かはがきで、〒254平塚市紅谷町五一二〇（福屋七階、電話〇四六三―22―四〇九三）の同所へ

年金の物価スライドを実施

国民年金の老齢、障害、母子、遺児、寡婦などの年金額が七月分から改訂されましたいずれも、従来にくらべ九・四%の増額です。

これは、昭和五十一年度の物価上昇による目減りを補うためのものでこれが実際に受取れるのは六、七、八の各月分が支払われる九月の支払分からになります。

住民結核健康診断

九月五日から、各地区で住民結核健康診断（レントゲン間接撮影）を施しています。対象者には受診票を送り、また、「住民結核健康診断のお知らせ」に、日時、会場等をお知らせしてありますので、も寄りの会場で必ず受けてください。

なお、対象は十六歳以上の一般住民で、健診の結果、精密検査を必要とする方には通知をしますが、異状のない方には連絡をしませんので了承知おきください。

お問い合わせは衛生課へ（電話71―〇七六七）

幼稚園児に補助

教育委員会では公立幼稚園に在園している四、五歳児の保護者に幼稚園就園奨励補助金と、保護者の所得の多少による就園奨励費補助金を支給しています。

本紙八月号でもお知らせしましたが、まだ手続きをとっていない方は印鑑と持参のうえ教育委員会（社会福祉センター内、電話71―〇五四二）へ九月十七日（土）正午までにおいでください。

役場人事

〈退職〉　七月二十一日付
総務課　伊賀　幸子
〈退職〉　八月十九日付
衛生課　今井　峯吉
〈退職〉　八月二十一日付
衛生課　石井　千博
〈採用〉　九月一日付
総務課　坂本真砂子

編集室

○この広報は、九月九日企画課へ提出しました。

○「広報にのみや」へのご意見は企画課へお寄せください。

（電話72―一八一一）

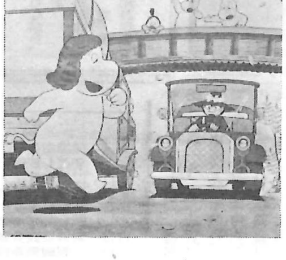
今月の納期

国民年金保険料
第2期
9月26日まで

秋の全国交通安全運動

あぶないぞ!!　よそみ　とびだし　じこのもと

9月21日～30日



とびだし防止

子供の交通事故で一番多いのは、とび出しによるものです。次のことに注意してください。

◎急に道路へとび出さないこと。特に、道路に面した場所などで遊んでいる場合には、車道へのとび出しに注意しましょう。
◎急に、黄色い小旗や手をあげても、車はすぐに止まれないので車が止まるまで待ちましょう。
◎道路の反対側の家族や友人を発見しても、急にとび出さない。
◎青信号に変わっても、すぐにとび出さないよう注意しましょう
◎友人や他の子供達が、急にとび出すおそれのある場合には、声をかけたりして、おたがいに注意しましょう。
◎その他、自動車に乗ったときは、シートベルトを必ず着用しましょう。

正しい横断

道路を横断中の子供の交通事故は「とび出し」に次いで多発しています。道路を横断するときは、道路の端で必ずいったん止まって右を見て、左を見てもう一度右を見て、車が来ないことを確かめてから渡ることを習慣づけることが重要です。次のことに注意してください。

◎道路を渡るときは、ふざけたりしないよう注意しましょう。
◎道路横断中は、急に走り出したり、立止まらないように！
◎横断歩道、横断歩道橋など、安全な場所を渡りましょう。
◎横断歩道の縁石や白線の手前で、必ずいったん止まり右を見て左を見て、もう一度右を見て、車が止まったら渡りましょう。
◎横断歩道がないときは、近づいてくる車が通り過ぎるのを待ってもう一度横断歩道を渡るときと同じように渡りましょう。